

メールマガジン埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.318 2020.9.23

県議会テレビ番組「こんにちは県議会です」 9月20日(日曜日)放送「常任委員会だより2」

県議会広報テレビ番組「こんにちは県議会です」(テレビ埼玉)では、各定例会の様様や主要会派代表者のインタビューなど県議会に関するさまざまな情報を放送しています。

今号のメールマガジンでは、ご覧になれなかった方のために、9月20日(日曜日)に放送した「常任委員会だより2」の内容をお伝えします。



荒木 優里

[☆放送スケジュールなど詳しくは、県議会のホームページをご覧ください。≫](#)

INDEX



県議会広報

こんにちは県議会です
「常任委員会だより2」

- 産業労働企業委員会 松澤 正委員長
- 県土都市整備委員会 浅井 明委員長
- 文教委員会 木下博信委員長
- 警察危機管理防災委員会 飯塚俊彦委員長



議事堂の花

生け花のご紹介



県議会広報

【こんにちは県議会です「常任委員会だより2」】

〈産業労働企業委員会〉

産業労働企業委員会は、産業労働部、企業局、労働委員会に関する事柄を所管し、労働条件の向上、雇用対策の推進、商工業の振興、中小企業金融対策、観光資源の利用促進、水道事業などについて審査を行う委員会です。

委員長 委員長の松澤 正です。中小企業や先端産業への支援、産業の維持・発展、雇用対策など、埼玉県の活性化に全力で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



—委員会としてのお考えをお聞かせください。—

委員長 県内企業の99%を占める中小企業の支援です。このたびの新型コロナウイルス感染症の影響で、中小企業や個人事業主がとても疲弊しています。特に、家族で経営している製造販売などは非常に厳しい状態です。国や県は支援を行っていますが、今の支援だけでは十分ではないと思っています。現在の制度からこぼれてしまうような企業へも手を差し伸べていかなければならないと思っています。

—先端産業にも力を入れていきたいとのことですが。—

委員長 ロボット、AI・IoTといった、今後の成長が見込まれる先端産業分野において実用化、製品化、事業化を一貫して支援することで、先端産業の育成を図ることが大切です。特に、鶴ヶ島ジャンクション周辺地域について、農業大学校跡地を中心に先端産業などの成長産業を集積して経済の好循環をもたらすとともに、先進技術の活用を促進して超スマート社会を実現しなければならないと思っています。

—産業の維持・発展にも力を入れていきたいとのことですが。—

委員長 埼玉県は約734万人の人口を抱えています。その中で産業を維持し発展させることが重要です。首都圏中央に位置し、充実した高速道路網などの交通インフラの充実、多彩な産業の集積などの優位性を生かした企業誘致活動を展開し、県内産業の振興や雇用の創出につなげていきたいと思っています。また、新型コロナウイルス感染症の例を見ますと、マスクなどが入手しにくい状況がありました。農業部門では食料自給率の話が出ますが、製造品についても国内で5割程度は維持していく必要があるのではないかと思います。

—今後の抱負をお聞かせください。—

委員長 新型コロナウイルス感染症の影響で県内経済は落ち込んでいます。経済が活性化しないことには、地域社会の好循環は生まれません。本県が元気になるよう、さまざまな施策を進めていきたいと考えています。

[▲トップへ](#)

〈県土都市整備委員会〉

県土都市整備委員会は、県土整備部、都市整備部、下水道局、収用委員会に関する事柄を所管し、道路事業・河川事業の推進、公園・下水道の整備や管理などについて審査を行います。

委員長 委員長の浅井 明です。道路や河川、まちづくり、下水道の整備など、県民の皆さまの生活を支える基盤づくりを担う委員会として、委員一同全力で取り組んでおります。どうぞよろしくお願いいたします。



—委員長としてどのような分野に力を入れて取り組まれているのでしょうか。—

委員長 まずは道路整備に取り組む必要があります。住みたい場所の要素に交通の利便性がよいこと、自然災害に強いことが挙げられます。人口減少社会にあっても、本県の人口が減らないようにしなければなりません。埼玉県は東京から近いという優位性がありますが、道路整備が進んでいない所があります。そこを整備していくことで人口減少に歯止めをかけたいと思っています。

—自然災害に強いとお話がありましたが。—

委員長 今後、首都直下型地震など大規模な自然災害が発生しても、県民の生命・財産を最大限守り、迅速な復旧・復興ができるようにしなければなりません。県民の安全・安心を守るため、道路網を多重化することで迅速な避難や救援物資等の円滑な輸送が可能となります。こういったことから、災害に強い県土の形成を図っていきます。

—治水対策についてはいかがですか。—

委員長 近年は局地的かつ記録的な豪雨の発生が相次ぎ、令和元年東日本台風では河川からの溢水や越水が、堤防の決壊など多大な被害がありました。自然の恐ろしさは弱いところをめぐらして襲ってくるというところにあります。被害を最小化するため、国や市町村と連携して総合的な治水対策にしっかりと取り組んでいかなければなりません。

—下水道についてはいかがですか。—

委員長 本県の流域下水道施設は、耐震基準が強化される前に建設された施設が多く、大規模地震への対策が課題です。生活環境や公共用水域の保全といったライフラインとしての機能を果たせるよう、災害対策も推進していかなければなりません。

—ほかには何かありますか。—

委員長 持続可能なまちづくりの実現に向けて、市町村のコンパクトシティの取り組みを促進します。また、安心・安全で快適な生活を確保する観点から、市街地再開発を計画的に実施し、良好なまちを形成してまいります。

[▲トップへ](#)

〈文教委員会〉

文教委員会は、教育委員会に関する事柄を所管し、義務教育、高等学校教育や特別支援教育の充実、生涯学習の推進、文化の振興などについて審査を行います。

委員長 委員長の木下博信です。次世代を担う子どもたちの教育の充実に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



—教育についてのお考えをお聞かせください。—

委員長 現場第一、児童生徒第一で仕事をしなければなりません。先日、教育長のお考えをお聞きしましたところ、われわれと同じく、「現場第一、児童生徒第一」を重視していると感じました。この思いを結果に結び付けていくためには、何を行い、何を变えていくのか、そして行動を生み出し結果を生み出していきます。

—具体的には考えていることはありますか。—

委員長 まずは全体的な構造を見直す必要があります。現在、教育の現場ではいろいろなことを行いすぎて、先生が子どもたちと向き合う時間が少なくなっています。やめられるものはやめ、簡素化できるものは簡素化し、子どもたちと向き合う時間を増やす必要があります。また、教育委員会の事業予算はたくさんありますが、国からの予算による事業も多くあります。国が決めた事業を実施することは重要ですが、埼玉県の特성에応じて必要なものを加えていくことが大切です。

—全体的な見直しが必要ですね。ハード面はいかがですか。—

委員長 県立高校でタブレット端末を使えるようにするなど、ICT環境のインフラ整備を進めるのは当然のこととして、同時にそれを使いこなして結果を出す体制づくりも必要です。また、新型コロナウイルス感染症のように、今後も夏場に授業を実施する可能性を考え、一般教室以外の教室への空調設備も検討しなければならない課題です。

—そのほかにもありますか。—

委員長 教員の不祥事が継続していますが、決してあってはならないことです。ですから、根絶のための研修や指導は徹底しなければなりません。しかし、現場の負担が大きくなって子どもたちと向き合う時間が失われていくようでは、本末転倒になります。発想を転換して効果的でシンプルな方法を考えるべきです。また、より現場を充実させるよう校長や教頭の登用、任用について再構築をすべきですし、教員の人数が足りなければ、国の基準を超えた配置を、県の予算で教員を採用育成することも検討すべきです。

—今後の抱負をお聞かせください。—

委員長 現在、新型コロナウイルスの感染拡大の中でいろいろな問題や課題が生じていますが、この事態への対応は重要です。しかし、そこだけにとらわれて本来やるべきものを置き去りにしないよう留意していきます。適切な対応で子どもたちを守りつつ、本来の教育のあるべき姿を常に意識し、行動し、変えていく。これらが遅滞なく効果的に実現していける埼玉県であるよう、委員会として検証してまいります。

[▲トップへ](#)

〈警察危機管理防災委員会〉

警察危機管理防災委員会は、公安委員会、危機管理防災部に関する事柄を所管し、警察行政の総合的企画・調整、消防や防災、危機管理の強化などについて審査を行います。

委員長 委員長の飯塚俊彦です。県民の皆さまが安全に安心して暮らしていけるよう全力で取り組んでおります。どうぞよろしく願いいたします。



—警察分野についてお聞かせください。—

委員長 悪質・巧妙化する「オレオレ詐欺」などの特殊詐欺の撲滅です。新型コロナウイルスに便乗した不審な電話や給付金を装った詐欺など予兆電話が多数確認されております。被害を未然に防ぐには県民の皆さまの注意が欠かせません。皆さまへの啓発をはじめ、摘発に至るまでの対策の強化を図る必要があると考えております。

—悪質な詐欺は撲滅してほしいですね。他にはありますか。—

委員長 本県は警察官1人当たりの人口負担や、刑法犯認知件数が全国1位であり、特殊詐欺への対応、高齢者の交通事故抑止対策、児童虐待等の人身安全関連事案の対応など、さまざまな課題に対応する警察官が不足しています。県民の皆さまが安全で安心して暮らせるまちづくりを実現するため、警察官の増員により人的基盤の強化を図っていきたくと考えております。

—防災の分野についてはいかがでしょうか。—

委員長 危機管理防災体制の強化を図ることです。最近、大型台風やゲリラ豪雨が多発しており、昨年、東日本台風のように甚大な被害をもたらす災害がいつ起こってもおかしくない状況です。そこで、大規模災害などさまざまな危機や災害に備え、「埼玉版FEMA」として、平時から災害ごとのシナリオに基づく図上訓練を繰り返し行うことで、関係機関との協力体制の強化を図る必要があります。危機管理防災部の主導の下、関係部局が対応する体制を構築することで、災害発生時の対応が迅速に行えるものと考えております。

—ほかにはありますか。—

委員長 自然災害が発生した時にも情報収集できる環境を整えることは重要です。今年度は、地上系防災無線の再整備を行うことで、大規模災害時における情報収集・伝達手段の確保を図ることになっています。また、IoTやビッグデータ、AI、DXなど先端技術を積極的に利用するとともに、それらを活用して情報収集するためのWI-FI整備を進めることも必要だと思っています。

[▲トップへ](#)

議事堂の花

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介します。
【協力 埼玉県いけばな連合会】



- ◆展示期間
8月11日～8月14日
- ◆作者
草月流 小林幽霞様
- ◆花材
フジの枯れ木、ユキヤナギ、グロリオサ

◇◆生け花の作者の方にお聞きしました！◆◇



〈草月流 小林幽霞様〉

Q: 作品のテーマを教えてください。

A: 作品を見て涼しさを感じられるように意識しました。ユキヤナギの明る

い緑とグロリオサの淡い赤の組み合わせは夏の暑さを和らげてくれそうです。夏らしく明るい印象を与えつつ、涼しげな風を感じる作品になっています。

Q:夏の盛りを思わせるグロリオサが前面を彩っていますが、たしかにどこか爽やかな印象を受けます。

A:花を生けるときは作品から感じる印象に重きを置いています。そのため色使いに気を配り花材を選んでいきます。

☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会ホームページでご覧になれます。》

[▲トップへ](#)

【注意】

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

【お問い合わせ】

●「メールマガジン埼玉県議会」の登録・解除はこちらから》

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail a6250-03@pref.saitama.lg.jp

埼玉県議会事務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257 / FAX 048-830-4923

© 2008 Saitama Prefecture All Rights Reserved. 無断転載を禁じます。

